平成29年
9月
定例議会
報告

平成29年度　一般会計補正予算

1億2,037万5千円を追加!!

総額66億8,347万8千円に増額

平成29年第３回定例会が、９月８日から19日までの会期で開かれ、11日、12日に行われた一般質問には10名の議員が登壇し、活発な議論が交わされた。また、議員提案による議会議員定数条例の一部改正案（議員定数14名→12名）が、最終日に賛成多数で可決された。

今回、平成28年度の決算審査は議会の各常任委員会で行われた。

主な補正項目

◎農地等災害復旧費……1,950万円

◎林業施設災害復旧費……1,270万円

◎公共土木施設災害復旧費……3,692万円

特別会計補正予算

会　計　名	減額・追加	歳入歳出予算総額
和水町国民健康保険事業会計	395万4千円減額	18億4,084万円
和水町介護保険事業会計	370万5千円追加	15億898万1千円
和水町特別養護老人ホーム事業会計	1万2千円減額	5億1,179万5千円
和水町下水道事業会計	86万4千円追加	8,028万8千円
和水町特定地域生活排水処理事業会計	62万5千円追加	1億175万7千円
和水町後期高齢者医療事業会計	7万円追加	1億5,027万円

和水町議会
議員定数2減　可決！

和水町議会運営委員長　小山　暁

和水町議会では、９月定例議会最終日の19日に、議員定数を現行の14名から、12名に２減する条例改正案を賛成多数で可決した。

この条例は、公布の日から施行し、次の一般選挙から適用することになった。

和水町議会では、これまで合併後の平成20年12月18日、条例第24号で議員定数16名を２名削減し、14名と定めてきたが、今日熊本県内や隣接町の同規模自治体の定数平均や将来的な人口減少及び税収の減少等を勘案し、今回更に２名減の12名とし承認可決した。

今回、条例の一部改正案の２名減案支持の賛成議員で提出した背景には、単なる経費削減だけでなく、県内自治体との比較検討はもちろん、将来的な人口減少や税収減少、更には議員一人当たりの有権者数などを参考にしながら総合的に判断したものである。

一部に住民の声が届きにくくなるという意見も出たが採決の結果は、賛成11、反対１（欠席１）で可決した。

ふれあい会館
調査特別委員会設置

調査特別委員会委員長　荒木拓馬

昨年の熊本地震で被災した『町ふれあい会館』天井改修工事を巡って、町議会は、３月・６月・９月定例会において、継続的に問題の追及を行ってきたが、工法変更の経過や設計金額などの疑問点を解明するため、調査特別委員会（６人）を設置し、平成29年12月末日迄に調査結果をとりまとめることになった。

問題の同会館について、町は当初被災したつり天井を全面軽量パネルに張り替える計画で、昨年６月議会で３千万円を計上、可決していたが、その後改修内容や工事金額の大幅な変更にもかかわらず町議会に諮らず、つり天井を残したまま補強工事を完了していたことが、後で判明したため問題となり、今回の特別委員会設置となった。

ふれあい会館

総務文教常任委員会

委員長　荒木拓馬

総務課

平成28年度一般会計歳入決算額は、75億3千534万円。歳出決算額は65億5千50万円で対前年比で、歳入1千846万円、0.2％の増、歳出3千532万円、0.5％の増額となっている。歳入区分ごとの割合は、地方交付税46・7％、国県支出金15・4％、町税で11・5％となっている。一般会計における基金の総額は、75億5千959万円。主なものとしては常備消防費として1億7千125万円、公債費の現在高は73億6千889万円、前年度より3億7千932万円減となっている。

会計室

会計管理費支出済額は132万円。平成28年度基金総額は81億8千91万円でこれに対する利子は年間202万5千円。

議会費

決算額は9千199万円で前年比マイナス9.8％、議員共済会負担金1千743万円。

税務住民課

自主財源の基礎となる町税の収入済額は8億6千678万円で前年比で6千527万円の収入増となっている。要因は各種税の収入増による。町税徴収金不納欠損処分額は386万円となり対前年度208万円増となっている。また部門別では生活環境で歳出が2億2千335万円で一部事務組合への負担金が含まれる。国保会計では歳入総額は16億3千23万円であるが、歳出総額が上回り405万円の財源不足が生じ、翌年度繰上充用が行われている。

後期高齢者医療会計の歳入総額は1億4千814万円、歳出総額は1億4千302万となっている。

まちづくり推進課

先ず歳入で4千461万円となり歳出は1億2千525万円。主なものは地方創生加速化交付金事業の賑わい創出が含まれる。

学校教育課

歳入としては教育費県補助金885万円。これにはスクールバス遠距離通学費補助688万5千円が主なもので、歳出として教育総務費の決算額1億1千637万円、小学校費が1億2千960万円、中学校費が8千84万円、学校共同調理場費として7千270万円となっている。

社会教育課

社会教育費の決算額は1億1千793万円で残り2千373万円は繰越明許費となっている。主なものとしては公民館費の三加和公民館屋根防水工事及び設計委託料がある。保健体育の決算額は1億9千684万円で主なものとして町体育館屋根防水工事、設計監理費に2千73万6千円と、ふれあい会館の地震による修復工事2千884万円を支出している。

平成28年度各会計歳入歳出決算額

区分		予算現額	歳入決算額 A	歳出決算額 B	翌年度へ繰り越すべき財源 C	実質収支額 A－(B＋C)
一般会計		73億3,163万8千円	75億3,534万5千円	65億5,050万8千円	1億2,269万円	8億6,214万7千円
特別会計	国民健康保険事業会計	16億7,193万3千円	16億3,023万4千円	16億3,428万6千円		△405万2千円
	介護保険事業会計	14億8,154万2千円	16億1,514万8千円	14億2,803万6千円		1億8,711万2千円
	特別養護老人ホーム事業会計	5億1,537万2千円	5億1,473万8千円	4億9,930万3千円		1,543万5千円
	簡易水道事業会計	1億7,237万8千円	1億5,499万2千円	1億3,493万3千円	707万1千円	1,298万8千円
	下水道事業会計	1億1,565万円	1億1,723万6千円	1億941万1千円		782万5千円
	特定地域生活排水処理事業会計	9,191万7千円	8,868万6千円	8,248万8千円		619万8千円
	春富財産区特別会計	28万1千円	120万8千円	14万円		106万8千円
	後期高齢者医療事業会計	1億4,606万2千円	1億4,814万1千円	1億4,302万6千円		511万5千円
	一般会計・特別会計合計	115億2,677万3千円	118億572万8千円	105億8,213万1千円	1億2,976万1千円	10億9,383万6千円
公営企業会計	病院事業会計（収益的収支）	9億5,066万7千円	9億2,476万1千円	9億3,999万1千円		△1,523万円
	病院事業会計（資本的収支） 歳入	3,199万6千円	3,199万6千円			△3,758万8千円
	病院事業会計（資本的収支） 歳出	7,104万3千円		6,958万4千円		

※病院事業会計は消費税抜きで記載。

あなたの納めた税金は

決算審査・各常任委員会報告

厚生常任委員会

委員長　蒲池恭一

厚生常任委員会に付託された案件は、平成28年度一般会計における健康福祉課、総合支所住民課所管事務関係と特別会計の介護保険事業会計・特別養護老人ホーム事業会計・和水町病院事業会計について審査を行った。

健康福祉課

健康福祉課は福祉係・障害福祉係・子ども家庭係・保健予防係・地域包括支援係・介護保険係の6係と神尾保育園で、0歳児から高齢者までの地域福祉施策や健康増進事業に関する事業を実施しており、特に健診に重点を置き、セット健診・選択健診・病院健診が実施され、平成28年度の受診率は約62パーセントと県下でも有数の受診率を推移している。健康増進においては、健診を受けることから始まり、町民一人ひとりが自分の健康問題に気づき、主体的に健康増進に取り組みながら重症化予防を図ることで、健康寿命に繋がり、しいては医療費の削減・介護給付費の削減に繋がるものと考える。

特別養護老人ホーム

歳入決算額5億1，473万8千円、繰越金（一般会計より）を引いた実質の歳入額4億4，021万7千円、歳出決算額4億9，930万3千円となっており、実質の単年度の収支は4，365万1千円の赤字となっている。歳出の主なものは人件費であり、人件費率81・07％（昨年80・12％）と人件費率が依然高い水準にあり、健全経営に適した人件費率になるよう、更なる努力を行う必要がある。

和水町病院

町立病院は平成25年度より地方公営企業法の全部適用に移行した。病院の事業管理者を定め、より民間的な考え方により、経営責任の明確化と自立性の拡大や運営の機敏性、又、職員のコスト意識と経営参画の向上を狙い、病院改革の最中であり、決算としては1，523万円の赤字となっているが、経営改善に向けた努力を期待する。

建設経済常任委員会

委員長　豊後力

農林振興課

農林水産業費の総決算額は2億8，260万8千円、一般会計目的別決算状況構成比率は4.3％になり、執行率は83・6％前年対比40・8％の減となる。

主な事業として経営体育成支援事業（28年度3経営体が事業に取り組む）や中山間地域直接支払事業（55集落協定）更に、多面的機能支払交付金事業（共同活動16組織長寿命化14組織）等に取り組んでいる。

他にも農業振興に欠かせない整備事業や支援事業の取り組みを継続しているが、更に農業生産意欲を高める施策を願う。

建設課

建設課土木費総額7億3，037万円増減率1.3％となり、主な事業として農業土木費補助3，346万2千円、土木費は行政区の環境整備にとって最も重要視される事業と言える。また、道路維持費及び道路新設改良費（単独・補助）総額として3億6，332万7千円となり、町道整備事業・江田高野線整備事業・内田吹野線整備事業・西光寺中林線整備事業が主な事業となる。

商工観光課

商工観光課に於いては決算額9，325万1千円増減率△39・8％となる。

町商工会補助として、750万円（会員219名）。商工振興費875万6千円より、和水町地域雇用創造協議会・菊水ロマン館・三加和温泉交流センター・道の駅施設管理運営事業等に補助している。

温泉を活用した観光事業に取り組むと共に、地域活性化を念頭に町商工会、地域の方、農業者の方々と連携を密にし、更なる飛躍を願う。

特別会計事業

簡易水道事業会計・下水道事業会計・特定地域生活排水処理事業会計、それぞれに於いて独立採算による企業形態を念頭に、事業運営に努めていくことを願い、決算審査報告とする。

9月議会議案審議

採決結果

条　　例：　2件
補正予算：　7件
人　　事：　1件
そ の 他：　2件
決　　算：　10件
計　　22件

町長提出議案一覧

議案番号	議案名	審議採決の結果
議案第30号	和水町個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
議案第31号	和水町三加和温泉ふるさと交流センター設置及び管理条例の一部改正について	〃
議案第32号	平成29年度　和水町一般会計補正予算（第２号）	〃
議案第33号	平成29年度　和水町国民健康保険事業会計補正予算（第２号）	〃
議案第34号	平成29年度　和水町介護保険事業会計補正予算（第１号）	〃
議案第35号	平成29年度　和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第２号）	〃
議案第36号	平成29年度　和水町下水道事業会計補正予算（第２号）	〃
議案第37号	平成29年度　和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第１号）	〃
議案第38号	平成29年度　和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第１号）	〃
議案第39号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	〃
議案第40号	指定管理者の指定について	〃
認定第１号	平成28年度　和水町一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第２号	平成28年度　和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第３号	平成28年度　和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第４号	平成28年度　和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	〃
認定第５号	平成28年度　和水町簡易水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第６号	平成28年度　和水町下水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第７号	平成28年度　和水町特定地域生活排水処理事業会計歳入歳出決算	〃
認定第８号	平成28年度　和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	〃
認定第９号	平成28年度　和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	〃
認定第10号	平成29年度　和水町一般会計歳入歳出決算	〃
同意第３号	監査委員の選任について	原案同意

議員提出議案一覧

条　　例：　1件
決　　議：　2件
そ の 他：　4件
計　　7件

議案番号	議案名	審議採決の結果
発議第１号	和水町議会議員定数条例の一部改正について	原案可決
発議第２号	和水町ふれあい会館天井改修工事調査特別委員会設置に関する決議について	〃
発議第３号	森林環境税の創設に関する意見書の提出について	〃
	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採　択
	閉会中の継続審査について（総務文教・厚生常任委員会）	原案決定
	閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
	議員派遣について	〃

9月定例会 賛否一覧表

○は賛成　×は反対　－は欠席

議案		議員名	生山 敬之	森 潤一郎	蒲池 恭一	豊後 力	荒木 政士	松村 慶次	小山 暁	庄山 忠文	荒木 拓馬	池田龍之介	杉村 幸敏	笹渕 賢吾	髙巣 泰廣	杉本 和彰
議案第32号	予算	平成29年度　和水町一般会計補正予算(第２号)	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
認定第１号	決算	平成28年度　和水町一般会計歳入歳出決算	○	－	×	○	○	○	×	○	○	棄権	○	○	○	※
認定第２号	決算	平成28年度　和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※
発議第１号	条例	和水町議会議員定数条例の一部改正について	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※
発議第２号	決議	和水町ふれあい会館天井改修工事調査特別委員会設置に関する決議について	○	－	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	※
発議第３号	決議	森林環境税の創設に関する意見書の提出について	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。
※賛否がわかれたものだけを掲載しています。

討　論　発議第1号　反対・笹渕議員／賛成・蒲池議員

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
79	平成29年6月2日	被爆72周年　核廃絶・平和行政に関する要請について		配付
136	平成29年6月30日	2017年原水爆禁止国民平和大行進への支持・賛同のお願い		配付
179	平成29年8月10日	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採　択	総務文教常任委員会

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
480	平成27年3月2日	合併特例債の適用期間の再延長を求めることについて（お願い）	継続審査	総務文教常任委員会
312	平成28年11月17日	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書	〃	厚生常任委員会
313	平成28年11月17日	「介護保険制度の見直し」と「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情書	〃	厚生常任委員会
314	平成28年11月17日	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情	〃	厚生常任委員会

総務文教常任委員研修報告

大河ドラマ放送に向けての観光振興策

総務文教常任委員会委員長　荒木拓馬

総務文教常任委員会は7月20日、21日に鹿児島方面の研修を行いました。金栗四三氏が2019年NHK大河ドラマの主人公の一人に選ばれ、和水町、議会がどのような点に着目し取り組んでいけば良いのか、2018年のNHK大河ドラマ「西郷どん」の舞台となる鹿児島市の取り組み状況を学び、もう一つは我町が直面している、学校統合による廃校の利活用についてその実状を研修するため、日置市と伊佐市を選定した。

鹿児島市では観光への取り組み、明治維新150周年大河ドラマ「西郷どん」放送に向けての取り組みについての説明の中で、市としては大河ドラマの誘致活動を継続的にやっておられ、結果今まで「翔ぶが如く」、「篤姫」そして今回の、「西郷どん」、の放映につながっていると自負されており、観光立市、維新のふるさと鹿児島の意気込みを感じたところであった。広報はもちろん市のPRをメインに、県内外に情報発信が行われており、メディアを最大限に活用されHP、フェイスブック、ツイッター、ラインなどの活用や観光においては民間が事務局を行い官民一体の取り組みや活動が行われていた。また、歴史ロードの開設、おもてなし隊、キャラクター、イベント、講演会の開催、ラッピングバス、電車、毎年の映像の制作のほか、新しい魅力作りとして観光資源の掘りおこしと、生産物や加工品の開発、そして今あるものの魅力の掘り下げ、磨き上げに取り組んでおり、あらゆるものを活用し徹底した攻めの姿勢での仕事ぶりには感心させられた。

次に日置市吹上町にある、旧野首小学校が平成15年文部科学省の取り組みの「廃校リニューアル50選」に選定され、アトリエとギャラリー、絵画教室として蘇り、「廃校に芸術の灯がともる！小学校がギャラリーに」を掲げ、町が文化の息吹を取り戻した。最後に伊佐市の旧大口南中学校を活用した総合交流拠点施設で平成26年に国庫補助金3千500万円1／2補助で整備され、子育て支援、世代間、地域間交流並びに地域産業の活性化を目的とされており、和紙づくりやピザ焼の体験なども出来、学校跡地の施設が有効活用されている事例を見る事が出来た。

厚生常任委員会研修報告

地域密着型ハブ病院視察

厚生常任委員会委員長　蒲池恭一

厚生常任委員会は、平成29年7月20・21日に、佐賀県唐津市民病院きたはたと福岡県北九州市立特別養護老人ホームかざし園の研修を行った。唐津市民病院きたはたは、本年6月に全国自治体病院「優良病院賞」を受賞されたこともあり、研修先に致しました。昭和25年8月に北波多村立病院として開設され、平成17年1月の市町村合併により「唐津市民病院きたはた」となり、平成17年4月に新築移転に伴い全56床を一般病棟から療養病床へ転換され、近隣に日赤、急性期病院や隣には民間移譲された特養(80床)等の介護福祉施設等があり、急性期病院・介護施設等・患者宅を病院がつなぐ「地域密着型ハブ病院」という連携・役割体制が確立されていることで、経営を安定的に運営されている。

北九州市立特別養護老人ホームかざし園は昭和58年に北九州市が開設以来、北九州市福祉事業団が管理委託をされてきたが、平成18年4月からは指定管理者制度の導入により、指定管理者として、北九州市福祉事業団が運営をされている。きくすい荘との違いは平均介護度がきくすい荘3.8に対し、かざし園3.9、利用率97.8％に対し99.4％、介護職員が利用者55名(きくすい荘110名)で19名ときくすい荘46名の半分以下、正職員4名、嘱託職員13名、臨時2名　又、事業団は、平成16年度まで北九州市の給料表を準用されていたが、平成17年度に給料制度改革を実施(約2割程度削減)人件費等の徹底した経営改善に努められていました。

建設経済常任委員会研修報告

農業6次産業化の取り組みとNHK大河ドラマに関する先進地事例研修

建設経済常任委員会委員長　豊後力

建設経済常任委員会では7月19・20日の2日間にわたり委員4名職員2名計6名にて、鹿児島県の鹿屋市株式会社オキス、鹿児島市役所、指宿市役所の3カ所を視察。初日に、6次産業にいち早く取り組まれている株式会社オキスを訪問し、代表者の岡本孝志氏より会社の概要説明を受け、加工工場の見学を行った。

昭和51年に岡本産業として創業、林業と運送業を主要事業として経営、平成18年に農業部門を新設し、農業法人株式会社オキスを設立された。

生産販売品目は乾燥野菜、生鮮野菜等、特徴として業務用を得意とする原料供給会社と説明を受ける。地域の高齢者や農家より生産される野菜等を買い取り商品化し利益還元に注力されている。乾燥野菜はすべてカット処理乾燥のため等級にこだわらず全て商品化の道があるとのことでした。この様な取り組みに於いて、農林水産省、経済産業省より数々の賞を受賞されている。

株式会社オキス研修で感じた事は、1つの商品を価値ある物に育てるためには、いろんな研究機関とのコラボが大事と考える。

和水町の農畜産物が、6次産業化によりなお一層の付加価値をうみ、地域の利益に繋がるよう思案すべきと確信した。

2日目に鹿児島市役所で大河ドラマ「西郷どん」鹿児島市推進協議会について、総務文教常任委員会と合同の研修となった。

鹿児島市については、平成24年度から平成30年の明治維新150周年に向け事業展開をしており、新たに大河ドラマ「西郷どん」の誘致活動の成果により、大河ドラマの制作の決定がなされている。

鹿児島市では平成20年にも大河ドラマ「篤姫」の放映があっており、今回2度の大河ドラマとなっている。「篤姫」では大河ドラマ館を設置し、大河ドラマ事業を展開、来館者は66万人、目標は50万人とのことだった。運営は自治体直営により運営。

今回の「西郷どん」では、来館目標を50万人に設定し、運営はプロポーザル方式で選定し、委託運営方式を採用とのことです。

ハード事業、ソフト事業と分野が多岐にわたるので、適材適所で人材が必要とのことだった。

一般市民や企業との支援がなければ成功に結び付かないと感じた。

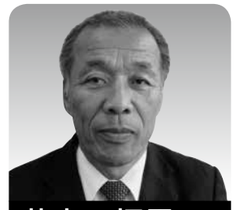
次に、指宿市の「いぶすき西郷どん館」実行委員会の視察研修を行った。

西郷隆盛とのかかわりは、明治7年に犬13匹を連れて、約1カ月滞在した温泉があるなどのゆかりの地、明治維新へ指宿が果たした役割などに焦点を当てた展示と併せ、大河ドラマ「いぶすき西郷どん」を設置し、入館者8万人を見込むとのこと。同じ鹿児島エリア内で競合する大河ドラマのモチベーションをうまく活かしながら観光事業に取り組む姿勢を感じ、今回の研修を終えた。

視察を終え感じた事は6次産業化・大河ドラマ館とも共通して、総意工夫、フットワーク、総合連携、身の丈に合った事業推進が必要と考える。一時的な経済効果に依存せず、我が和水町の未来永劫、歴史的な礎となることを願う。

明治維新150周年・大河ドラマ「西郷どん」放送に向けての取組について

オキス加工工場


荒木　拓馬議員

千載一遇のチャンスを町づくりの仕掛に！

問 **2019年、NHK大河ドラマに和水町生まれの金栗四三氏が選ばれたが、これに伴う町の対応とその進捗状況はどうなっているか。**

答 （町長）和水町をPRする絶好の機会であり、このチャンスを生かし町を訪れる皆様に喜んでいただける体制づくりと、経済効果を広く町内に及ぼす仕組を構築していくため、県、関係団体と連携し、大河ドラマ「いだてん」和水町推進協議会を設立した。今後、民間と官の協働により、意識啓発の醸成と誘客の促進、受け入れ体制の整備、ゆかりの地の連携、青少年の育成等に継続的に取り組んでいきたい。

問 **県や周辺自治体、特に玉名市との連携はどのように考えているか。**

答 （町長）4月4日の熊日の朝刊で朗報を知り、その日に県を訪れ、県知事、副知事を表敬訪問をし、県としても支援をしていくことで約束をいただいている。周辺自治体との連携協調について、玉名市、南関町との協議会設立に関し打合せ会議を開催している。

問 **町財産の管理と今後の活用について、どのように考えているか。**

答 （町長）町総合グラウンドについてはスポーツ交流施設として整備をし活用したい。ふれあい会館については町民にたいへん迷惑をかけている。7月の豪雨により樋からの雨漏りにより天井がはく離した状況であるので早急に修繕を行い終了しだい開放したい。農就センターは熊本地震で大きく被害を受け今後廃止に向け調整していく。緑小跡は民間の果実堂、アジル、和水サポート、スローワークスクールに。春富小は㈱アクセスジャパンコーポレーションにそれぞれ無償貸与している。和水斎場については、せきすい斎苑の整備が完了するまで修繕を行いながら稼動を続ける。

笹渕　賢吾議員

教職員の長時間労働の実態と改善策は

問 **教職員の長時間労働が問題になっているが、なぜ忙しくなったのか。1日と1カ月の勤務時間はどれぐらいか。**

答 （町長）脱ゆとりに伴う学習指導要領改訂で授業時間も増え部活動指導や事務作業の負担が重くなっている。

答 （教育長）小学校教職員の労働時間は子どもたちの登校時間の7時半前に出勤し、その後健康観察や読書活動をして授業に入る。給食は義務教育の指導なので子どもたちが食べる間も勤務時間に入る。その後45分の休憩時間ですぐに掃除をして5時間目、6時間目の授業に入る。その後校内研修、子どもたちの教育相談、部活動の指導等2時間、その間、明日の授業の準備、今日の授業のまとめを2時間から3時間ぐらい、勤務終了後、午後6時半から7時くらいに帰る。中学校はほとんどの先生が2人の交代体制で部活を行い子どもたちが7時に下校したのを確認し7時半以降、本来の自分の授業のまとめと明日の準備をして帰る。週に1回は定時退勤日になっている。

問 **1日12時間ぐらい学校に拘束されている状態だが、文部科学省の勤務実態調査では勤務時間が増加し、小学校では33・5%、中学校では57・6%の先生が週に60時間以上勤務している。時間外勤務が多くの教職員に強いられているが先生の超勤手当は出ているか。長時間労働の改善策は。**

答 （教育長）小学校の運動活動は平成30年度末に社会体育に移行する。子どもの安全第一、命第一で進めているので長時間労働はなかなか減らない。教諭は給与の100分の4の手当を支給し、時間外手当はない。

池田龍之介議員

民家村内施設の利用者の選任については議会の議決が必要ではないのか！

問 **肥後民家村は公の施設であり、行政財産であると認識をしている。地方自治法第96条第1項の11に「条例で定める重要な公の施設につき、…」とあり、議決を必要としており、また、6月末での退去通告に不服として、撤回を申し入れた要望書を不服申請書としてとらえるならば、地方自治法第244条の4の4に「普通地方公共団体の長は公の施設を利用する権利に関する処分について、異議申し立て、または、審査請求があった時は、議会に諮問してこれを決定しなければならない」と、定められている。今年度利用許可された入居事業者は明らかに地方自治法に反しているのではないか。手続き上の不備と思うが、その点如何か。**

答 （総務課長）肥後民家村設置条例があるので「公共団体は条例で定める重要な公の施設」これは該当すると思う。公開質問状があっているが、異議申し立て、審査請求として取り上げるのか、どうかであるが、公開の場で質疑応答がなされているので、それはそれとして、納得がいかず撤退されたのであれば、これから先にもこの要件的なものは該当するのではないかと思われる。

問 **ふれあい会館について、設計変更委託料について、町長からも課長からも提示がなかったが、工事単価を町が業者に示すのに、どの積算を基礎として示すのか、何処を基準として積算したのか。**

答 （社会教育課長）当初の設計委託料の中に、設計変更料も含めた形でお願いをしている。

要望 **議会で提議した問題であるので、議会に於いて、特別調査委員会を設置して、徹底的に調べた方が良いのではないかと思う。監査委員に権限がある、工事監査をして貰いたいと要望をする。**

杉村　幸敏議員

町長の公約の実現はできているか

問 **ふれあい会館は、平成28年4月16日熊本大地震後、いまだに開館されていない。大きな問題である。いつ開館するのか、早急に開館すべきである。**

3月、6月、定例会で各議員、町長、教育長の責任追及があったが、この問題についてはどの様な責任をとるか。

答 （町長）長期化した現状に鑑みて、責任は重大であり厳粛に受け止めている。今の時点ではこの問題が解決した後、その後に熟慮してどのような責任をとるか考える。

問 **町長の任期も残すところ数カ月となったが町長の公約はほとんど実現されていない。**

町長の公約の5項目について伺う。

答 （町長）ご指摘の通り公約を提示させていただいたが、なかなか実現できてない部分が大多数であるというふうに、考えている。企業誘致についてもできていない。

問 **老朽化した高齢者介護施設への対応。固定資産税減税、その他各種社会保険料の期間限定引き下げの試算と検討は。**

答 （町長）老人ホームの建物については非常に老朽化している。先般の地震により損傷を受けている。早急に対応しなければいけないと思う。又、答申もいただいており本腰をいれて、検討していきたいと思う。

特に保険料については、軽減する公約をしたが現実はそうではなく、むしろ値上げさせていただいた。お詫び申し上げる。

［その他の質問］

- **町立病院の運営について**
- **あばかん家の開湯について**
- **民家村の活性化について**

髙巣　泰廣議員

元気臨時交付金1億53万円 国庫へ返納の可能性？

問　7月の議会・全員協議会で、平成25年度菊水区域小・中学校用地造成事業に伴う元気臨時交付金1億53万6千円が、和水町・総務省の会計検査院の会計検査で返還の可能性が生じてきたとの報告があったが、事業経過及び今後の対応はどうされるのか。

答　（町長）現在総務省、県で会計検査院に対し協議中で決定した訳ではないが、国庫への返納の可能性がある為に報告した。

答　（総務課長）平成28年2月検査が行われ、地域臨時交付金に菊水区域学校敷地造成事業について検査を受けた。造成した敷地が検査時点で全く利用されていない状況の為、院に持ち帰り検討する旨の講評であった。その後総務省の検査が5月～8月迄調整が続き9月も確認の作業が続いている。

　当初の計画・目的に沿い適正に利活用すべきではなかったか等指摘も聞かれた。今なお検査が終わったとの連絡は現在までない。

　今後の対応については、会計検査院の指摘結果を踏まえ熊本県の指示に従わなければならない。

問　元気臨時交付金とは、どの様な性格のものか。

答　（総務課長）地域経済活性化対策等で毎年あるものではない。

問　国庫への返納は間違いないと思うが、町長はどの様に思われているか。

答　（町長）極めて厳しいと受け止めている。

問　貰った交付金を返納しなければならなくなった場合、町長はどんな思いであるか。

答　（町長）言葉にならない状況である。察し頂きたい。

生山　敬之議員

スポーツ振興策 予算の増額を！

問　木育について。前回提案していた町内産の杉材を使った机や椅子の導入に関しては、新1年生の数だけを毎年提供すれば、6年間で全校児童分の入れ替えができる。計画的に全小中学校の机・椅子の入れ替えをするという考えはいかがか。

答　（教育長）これからいろんな方々の話も聞きながら検討していきたい。

問　学校教育について。全国各地でエアコン導入をきっかけに夏休みの短縮を実施している自治体もある。早い段階から保護者や子どもたち、そして先生や専門家等からの意見を聞く必要があると思うが。

答　（教育長）夏季休業日の短縮は、現段階では必要ない。

問　スポーツ振興策について。日本人の運動不足による過剰医療費割合は、7.7％と試算されている。スポーツで健康寿命の延伸と国民医療費の抑制が期待できることから、町ではスポーツ実施率の向上のため、どのように取り組むのか。

答　（町長）人口交流によって、町の活性化を図るという観点から、なんとかスポーツの部分を取り入れたい。

問　限られた予算の中で、決して無駄にはならない投資として、スポーツ振興のための予算の増額、そして人材育成への取り組みを強化していく考えはあるか。

答　（町長）番城グラウンドをはじめ、現有する施設を有効に利用していく。身の丈に合った整備もしていきたい。

蒲池　恭一議員

ふれあい会館の耐震復旧工事は何故変更しなくてはいけなかったのか？

問　「昨年4月の熊本地震に伴い、ふれあい会館の天井隅の部分が一部破損、落下した、同会館天井は吊り天井構造となっており、現在、国土交通省の耐震基準に合致して無い」というのが提案（最初の）理由であった。そこで、町として、同館天井の復旧と合わせて、天井を軽量パネルに張り替えるとして工事費予算3千万円を上程され、議会が承認したところである。それが、何故変わったのか、変更された理由として「詳細調査の結果、今回の天井破損は、ダクトの凍結による天井ボードの劣化が主原因となっており、天井全面張り替えは不要である。よって、天井は一部改修とし、天井の結露、汚水の経年劣化部分の張り替え及び補修と結露防止対応と、電気設備等の改修工事を主体とした」で、間違いないか？

答　（町長）そのように報告をうけている。

答　（教育長）そのように理解している。

答　（社会教育課長）間違いない。

問　凍結防止の166万円は、変更前の工事費の中でも予算の中に計上されているが？

答　（町長）面目ない、気がついてなかった。

答　（教育長）手持ち資料を確認したい。

答　（社会教育課長）間違いない。

問　これだけ大きな問題に成っているにも関わらず、平成29年3月から一般質問がずっとあった中で、緊急質問をし、9月定例会の一般質問にも上がっている中で、6月の定例会においては自分達の報酬カットを提案しなければならない案件を、把握して無かった！そういう言い訳をしてはいけない。

庄山　忠文議員

菊水地区小学校統合は平成31年にできるか。又、小中学校大規模改修21億円でできるか？

問　菊水中央小学校周辺用地の確保はできたか。平成31年4月開校を目指しているが国県の補助対象等クリアできているか。町長は21億円の改修案で進んでいるが本当にできるか。

答　（町長）用地確保はできている。菊水中央小、菊水中ともに改修事業についての交付の内示を受けている。改修工事の費用については地震等の影響で非常に厳しいと思うが縮減に努めます。

問　県町道改修について。県道和仁ー菊水線、大田黒、江栗間の工事がストップしているが原因は何か。又、町道西光寺ー中林線の完了計画はどうなっているか。町長として国、県に対してトップセールスとしてやられているか。

答　（町長）県道については用地の取得が一筆だけできていないが平成29年度内にはできる様である。西光寺ー中林線においては平成32年完了予定であるが現在用地の確保にがんばっている。買収土地所有者3名ができていない。でき次第前倒しでもしてやっていく。又、県の振興局に対してできる限りお願いしたいと思う。

問　農業振興について農業後継者の確保はどう進めているか、又、地域に合った作物の推進、竹林の園地化はどう進めているか。

答　（町長）青年就農給付金制度を利用し今年度をふくめ17名就農されました。町も対策助成金を出して進めている。又、稲作を中心に農産物の振興作物を選定しブランド化を図りたい。竹林の整備においては園地化を図り、南関町のバンブーフロンティアも含めて対策を講じていく。

ふれあい会館と菊水中学校体育館の耐震補強工事について

問　ふれあい会館の天井改修工事設計変更後の工事請負費2592万5856円の金額と工事内容の妥当性について、第三者を入れた検証結果はどうだったのか。

答　（町長）第三者の設計業者を選び調査をお願いしたが、内容については省略させていただきたい。

問　第三者の確認所見によると工事金額及び工事内容については、妥当という検証結果が出ているが、他の議員の問題指摘にもあるように状況が一変しており、この問題は真相究明が必要と考えるが、町長の見解は。

答　（町長）許しを願えれば、時間をいただき別途説明させてもらいたい。

問　昨年11月10日に大幅な設計変更協議が行われているが、なぜその時点で議会に説明なり相談、報告をしなかったのか。

答　（町長）全く私の手落ちで、弁解の余地はない。

問　ふれあい会館の改修工事完了後約7カ月も町民に開放しなかった理由は何か。

答　（町長）工事内容の変更について、議会に相談・報告しなかったのがその一番大きな理由である。

問　菊水中学校体育館の耐震改修補強工事の落札業者決定後に、受注者から落札解除申請があり、再入札に至ったと聞くが、なぜそのような状況になったのか。

答　（町長）落札はしたが期間内の手続きができず業者の方から解除申請があったので、解除に踏み切った。

問　結果的には、町内業者の締め出しという大変残念な結果となっているが、今後二度とこのようなことがないよう配慮願いたい。

答　（町長）今後入札審査会でしっかりと対応していきたい。

問　菊水中学校体育館の耐震改修工事は、教育現場に影響ないのか。最終的な工期竣工予定はいつなのか。

答　（教育長）実際的には学校の授業等に大変苦慮している。

答　（学校教育課長）最終的な工期は、12月22日となっている。

［その他の質問］

・地方への新しい人の流れを作るためのまちづくりについて

・スポーツ振興について

一日も早く町民グラウンドを総合スポーツ運動公園として整備を!!

問　町民のための心肺蘇生（AED）の設置状況は。

答　（町長）町内16の公共施設に19台設置、民間の16事業所に17台設置がなされている。

問　応急手当の練習・体験についてのマニュアルを作成し、周知徹底はなされているのか。

　また、各種イベント等が行われる場所には配備しているのか。

答　（総務課長）神尾小学校、菊水荘は年1回以上講習を実施している。

　町の女性消防団員に指導者育成の講習を実施し5名の資格者を有している。

　各種イベントに於いても全てに配備をしている。

問　耐震改修が進むなかで、統合に向けた各機関への協力体制等、連携がとれているのか。

答　（町長）平成31年4月開校が非常に厳しい状況を迎えている。保護者や学校現場、各種委員会、地域の皆様方に説明しご理解を頂く。

答　（教育長）平成31年4月開校を全力で目指しているが、法的な解決等が必要になり、今現在検討している。

問　交通アクセスの良さを活かし、熊本県内有数の「多目的スポーツ公園」としての活用を早期に考えるべきと思うが。

答　（町長）現在のグラウンド一帯が学校用地としての大規模開発事業であり、国、県等との折衝により運動施設、グラウンド施設の用途に切替え、活用についてのグラウンドデザインを描いていきたい。

問　大河ドラマ「いだてん」の主人公、金栗四三にちなんだ総合スポーツ公園の実現を。

答　（町長）NHK大河ドラマに関して、各機関の本部等に出向き永続的に関わりを持つように提案している。

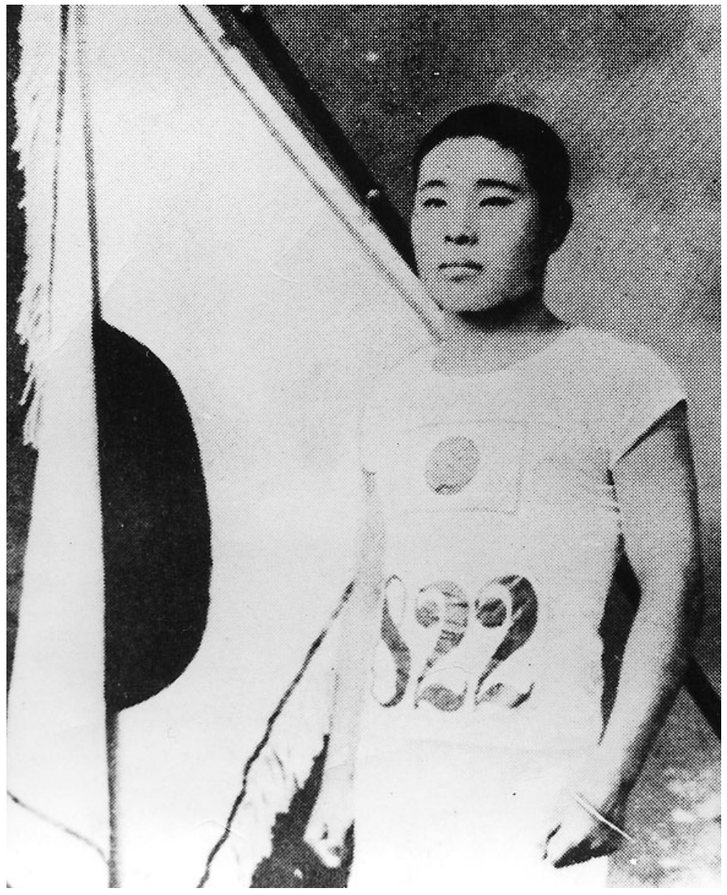
走り続けた92年！
日本マラソンの父『金栗四三』

シリーズ編・［その3］
＝　金栗四三氏の遺品　＝
300点里帰り

日本マラソンの父・金栗四三氏の貴重な遺品が、遺族から出身地の和水町へ寄贈されたのは、平成13年7月8日でした。遺品の中には、明治45年（1912年）のストックホルム五輪に日本人で初めて出場した時、身に付けたゼッケン『822』付きのランニングや金栗先生が発案されたマラソン足袋、同五輪の開会式でかぶったシルクハット、同五輪出場を決めた際の国内予選会の優勝カップなど300点が寄贈されました。金栗四三氏は、1911年に開催されたオリンピック国内予選会で世界最高記録を27分も縮める2時間32分45秒で優勝。更に、3度の世界新記録を樹立、五輪にマラソン代表として4度選出され、実質3回（1916年ベルリン大会は、戦争のため中止）出場され、日本マラソン界のトップとして牽引されてきた偉業は、今も伝説となっています。

　300点にものぼる貴重な遺品が里帰りできたのは、金栗四三氏の長女・故池部政子さん（当時78才）の亡母ジュヤさんが、日頃から『夫の遺品を生まれ故郷の三加和に帰してあげたい』という話しから、当時県内に居られた子ども6人の親族会議で寄贈が決まったと聞いています。当時、政子さんは『思い出の品が里帰りして、父も母も安心していることでしょう』と母ジュヤさんの命日にあたる7月8日に話された当時のことが今も忘れることはできません。金栗氏の遺品は、毎年11月に開く金栗マラソン大会で展示されています。

文責…小山　暁


『822』番のゼッケンが付いたランニングシャツを着たストックホルム五輪（1912年）出場時の金栗四三氏・21歳